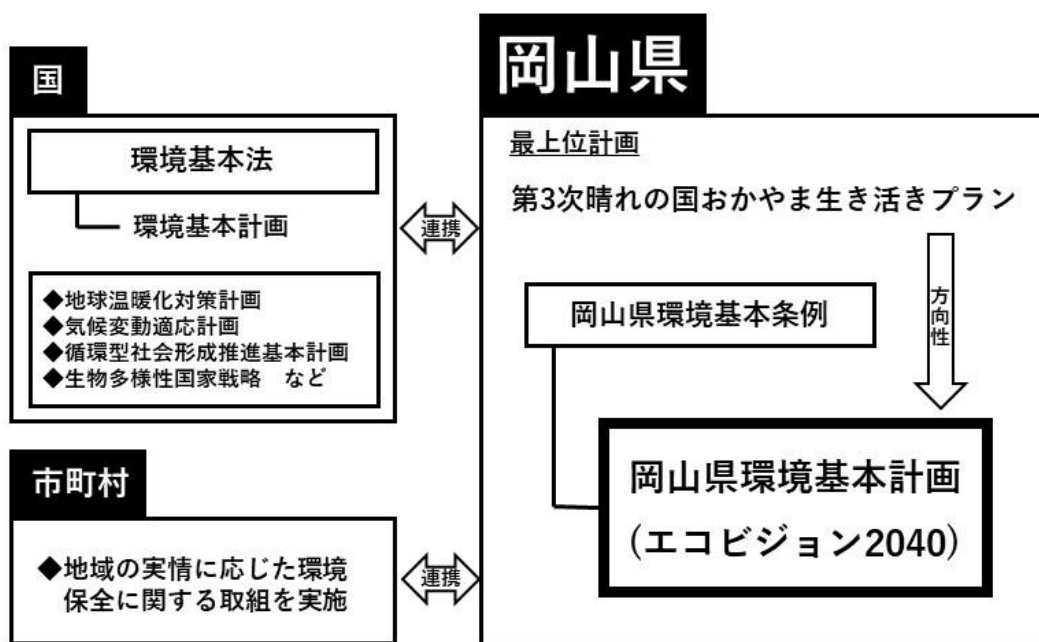


## 図案及びキャッチフレーズ

## 位置づけ図案



## 環境基本法

## 第3条

環境の保全は、(略) 現在及び将来の世代の人間が健全で恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに人類の存続の基盤である環境が将来にわたって維持されるように適切に行われなければならない。

## 第7条

地方公共団体は、基本理念にのっとり、環境の保全に関し、国の施策に準じた施策及びその他のその地方公共団体の区域の自然的社会的条件に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。

## 構成図案

### 第1章 基本的事項

1 計画の目的と位置づけ	2 計画の期間	3 計画の構成
--------------	---------	---------

### 第2章 環境を取り巻く情勢と課題

1 世界の情勢と課題	2 国内の現状と課題	3 県内の現状と課題
------------	------------	------------

### 第3章 目指す姿

<b>より良い環境に恵まれた持続可能な社会 ～守ろう！つなごう！岡山の環境（仮案）～</b>
--

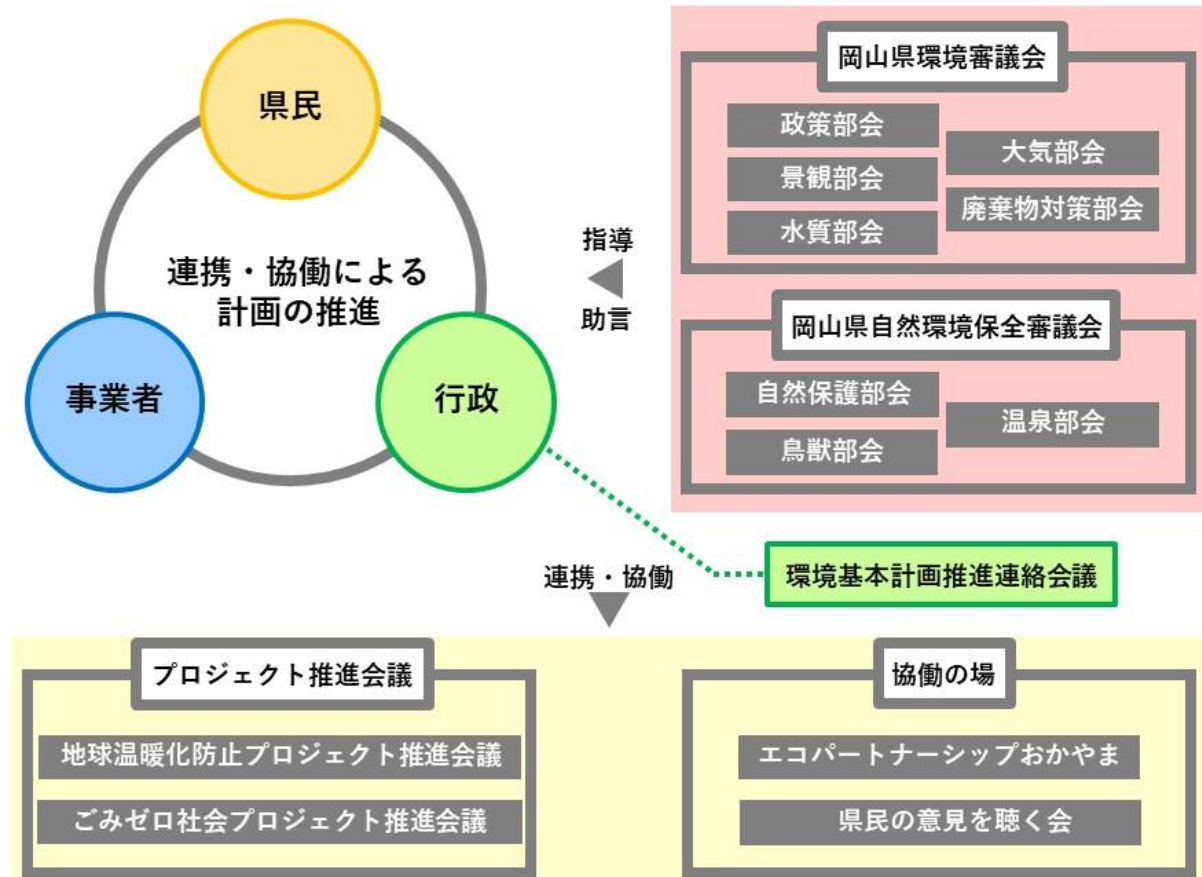
### 第4章 具体的な取組

<b>基本目標</b>
I 気候変動対策（緩和・適応）の推進
II 循環型社会の形成
III 安全・安心な生活環境の保全と創出
IV 自然と共生した社会の形成
<b>横断的な視点</b>
I 環境の未来を支える担い手づくり
II 環境の未来を創る経済振興

### 第5章 計画の進め方

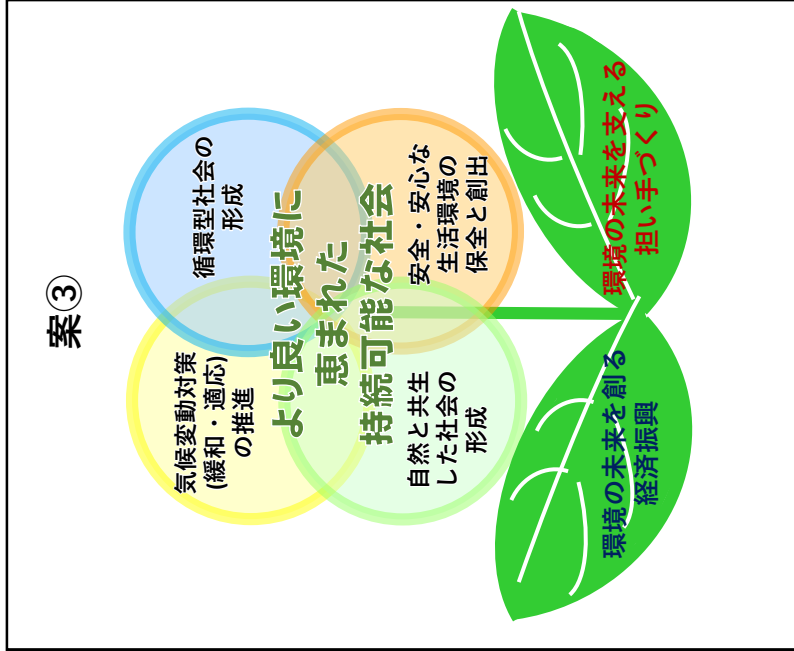
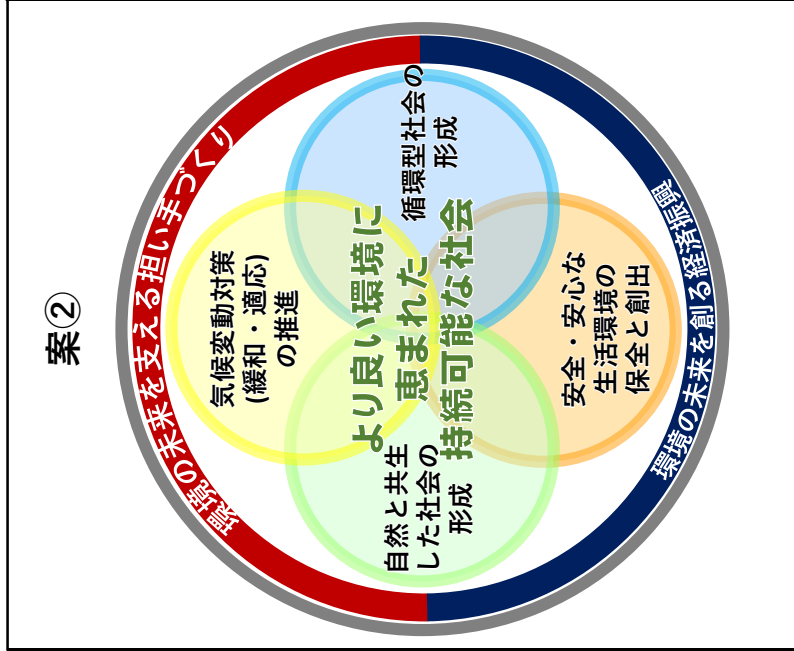
1 推進体制	2 取組の内容に応じた実施方法等の工夫
--------	---------------------

# 推進体制図案



エコパートナーシップおかやま：県民団体・事業者団体・市町村・県の協力体制のもと、県民総参加で環境保全活動を積極的に推進することを目的とした会  
 県民の意見を聴く会：県民・事業者・行政が一体となり、計画の目標・成果・課題等について共有し、協働しながら計画を推進していくため、県民・事業者・行政が意見交換を行う会

# 第4章「具体的な取組」の体系図案



岡山県環境基本計画（エコビジョン2040）（仮称）キャッチフレーズの候補

番号	キャッチフレーズ	キャッチフレーズの意図
①	より良い環境に恵まれた持続可能な社会 ～守ろう！つなごう！岡山の環境～	環境の保全に県民・事業者の力が必要であることを、可能な限り端的に表現した（14文字はナジジ的に目に留まりやすい字数。）。
②	より良い環境に恵まれた持続可能な社会 ～みんな目指そう！よりえーおかやま～	親しみやすくするため、岡山弁を採り入れた。
③	より良い環境に恵まれた持続可能な社会 ～エコの国おかやまの実現～	認知されつつある「晴れの国おかやま」を意識し、目に留まりやすい字数とした。また、エコには、エコロジー、エコノミーの意味を含めている。
④	より良い環境に恵まれた持続可能な社会 ～みんなで守る！創る！つなぐ！岡山の環境～	協働の観点を入れるとともに、守ることも大切であるが、さらに良い環境を創造するという発展的な意味も込めた。加えて、次世代につないでいく視点も採り入れている。
⑤	より良い環境に恵まれた持続可能な社会 ～岡山の環境 守って、創って、つなげよう～	⑤の内容を呼びかけるようにアレンジした。